訂正とお詫び

2019年7月7日実施　統一合判小6社会

2問８の問題に誤りがあります。

問８　下線⑧に関連して、2017 年に日本が輸入した魚介類として正しいものを次の**ア～エ**から１つ選び、記号で答えなさい。

ア かに　　イ たこ　　ウ にしん　　エ さけ・ます

（誤）「魚介類として正しいもの」
（正）「魚介類のうち輸入量がもっとも多いもの」

本問は 2017 年に日本が輸入した魚介類のうち、もっとも輸入量が多い魚介類を選ぶ趣旨の設問ですが、作成にミスがあり輸入された魚介類の種類として正しいものを選ぶ設問になってしまいました。

ア～エのいずれの魚種も輸入されているため、**すべて正解**とさせていただきます。

受験生、保護者、また、関係者の方々に多大なご迷惑をおかけしたことを心からお詫び申し上げます。

首都圏中学模試センター
教務部

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましょう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか、…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましょう。

思考スキル

○情報を獲得する
- 問題文から情報や問題の条件を正しくとらえる
- 図やグラフなどから情報を正しくとらえる

○再現する
- 計算を正しく行う
- 問題の指示通りの操作を正しく行う

○調べる
- 方針を立て、考えられる場合をもれや重複なく全て探し出す
- 書き出すことを通じて、法則を発見する

○順序立てて変化をとらえる
- 変化する状況を時系列で明らかにする
- 複雑な状況を要素ごとに筋道立てて明らかにする
- 前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

○特徴的な部分に注目する
- 等しい部分に注目する
- 変化しないものに注目する
- 際立った部分(計算式の数、素数、約数、平方数、…など)に注目する
- 和、差や倍数関係に注目する
- 対称性に注目する
- 規則や周期に注目する

○一般化する
- 具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式を導き出す
- 具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

○視点を変える
- 図形を別の視点で見る
- 立体を平面的にとらえる
- 多角的な視点で対象をとらえる

○特定の状況を仮定する
- 極端な場合を想定して考える(もし全て○○なら、もし○○がなければ、…など)
- 不足を補ったり、余分を切りはなしたりして全体をとらえる
- 複数のものが移動するとき、特定のものだけを移動させて状況をとらえる
- 具体的な数をあてはめて考える
- 解答の範囲や大きさの見当をつける

思考スキル

○知識
- ・情報を手がかりとして、持っている知識を想起する
- ・想起した知識を正しく運用する

○理由
- ・筆者の意見や判断の根拠を示す
- ・ある出来事の原因、結果となることを示す
- ・現象の背後にあることを明らかにする

○置換
- ・問いを別の形で言い表す
- ・問題の状況を図表などに表す
- ・未知のものを自分が知っている形で表す
- ・具体的な数と比を自由に行き来する

○比較
- ・多角的な視点で複数のことがらを比べる
- ・複数のことがらの共通点を見つけ出す
- ・複数のことがらの差異を明確にする

○分類
- ・個々の要素によって、特定のまとまりに分ける
- ・共通点、相違点に着目して、情報を切り分けていく

○具体化
- ・文章から筆者の挙げる例、特定の状況や心情を取り出す
- ・ある特徴を持つものを示す

○抽象化
- ・個々の事例から具体的な要素を除いて形式化する
- ・個々の事例から共通する要素を取り出してまとめる

○関係
- ・文章どうしのつながりをとらえる
- ・部分と全体のそれぞれが互いに与えあう影響に目を向ける
- ・ある目的のための手段となることを見つけ出す

○推論
- ・情報をもとに、先の変化を予測する
- ・文章から、筆者の考えを論理的に導き出す

○類推
- ・情報を活用して、さらに別の情報を引き出す
- ・個々の共通点から、特定の事象を導き出す
- ・要素間の意味をとらえ、情報を補う

小学6年 算数 ―― 解答と解説

1

(1)	(2)	(3)
1829	49	9
21	22	23

(4)	(5)	(6)
1.5	$\frac{5}{6}$	6
24	25	26

2

(1)	(2)			
108 度	①	時速 1 km	②	6 時間
27	28			29

(3)	(4)
17 秒後から 20 秒後まで	14.13 cm^2
(完答) 30	31

(5)	(6)
2450 円	2 時間 30 分
32	(完答) 33

3

(1)	(2)
5 : 3	4 : 1
(完答) 34	(完答) 35

4

(1)	(2)	(3)
$\frac{6}{1}$	6	598 番目
36	37	38

5

(1)	(2)	(3)
120 円	644 円	C → A → B

39　40　（完答）41

6

(1)	(2)					
12 個	①	2	5	6	②	10 通り

42　（完答）43　44

7

(1)	(2)	(3)
400 cm^3	120 分後	60 (cm)

45　46　47

8

(1)
2 通り

48

(2)
1 , 2

（完答）49

(3)		
あ	い	う
3	1	2
3	2	6
3	6	5
3	5	1
1	3	5
5	3	6
6	3	2
2	3	1

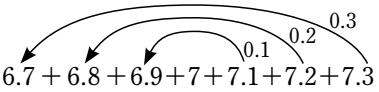
（完答）50

（配点）各 5 点×30　計150点

【解　説】

1 (2) A2 再現する

平均の考え方を利用して工夫することができます。



＝7×7

＝49

(3) A2 再現する

分配法則を利用することができます。

$3.3\div\frac{2}{3}+2.7\div\frac{2}{3}$

$=3.3\times\frac{3}{2}+2.7\times\frac{3}{2}$

$=(3.3+2.7)\times\frac{3}{2}$

$=6\times\frac{3}{2}$

＝9

(4) A2 再現する

先に計算できるところを計算してから逆算します。

17÷(10－□)＋0.5×0.6＝2.3

17÷(10－□)＋0.3＝2.3

17÷(10－□)＝2.3－0.3

17÷(10－□)＝2

10－□＝17÷2

10－□＝8.5

□＝10－8.5

□＝1.5

(6) A1 知識

比例式では内項(ないこう)の積と外項の積は等しいので、5.2×□＝7.8×4と表せます。

よって、□＝7.8×4÷5.2＝6です。

(別解)　7.8：5.2＝3：2＝6：4より、□＝6とわかります。

2 (1) A2 知識

(比例配分)

三角形の内角の和は180度です。

$180\times\frac{9}{2+4+9}=108$(度)

(2) B1 知識 再現する

(流水算)

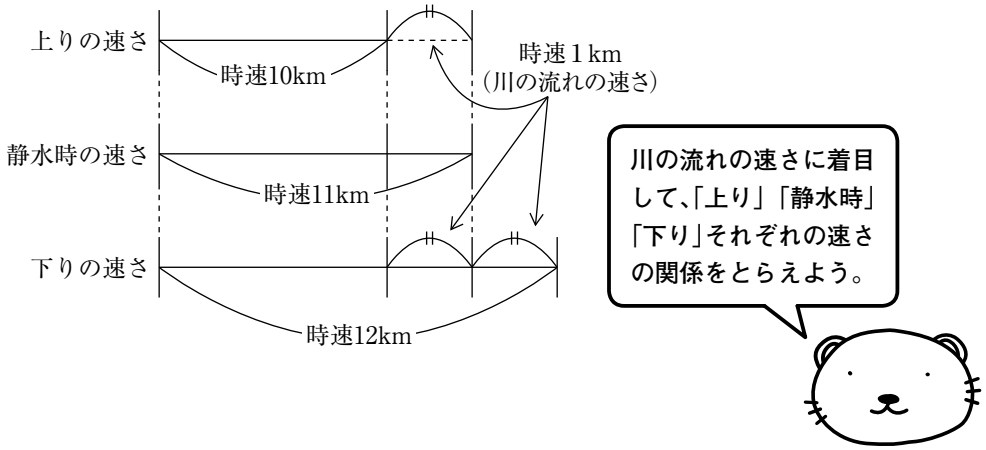
① 60÷5＝12(km/時) ……船の下りの速さ

12－11＝1(km/時)

② 11－1＝10(km/時) ……船の上りの速さ

60÷10＝6(時間)

(参考) 船の上りの速さ、静水時の速さ、下りの速さの関係は、下の図のように表せます。



(3) B1 順序立てて変化をとらえる 特徴的な部分に着目する

(平面図形の移動)

頂点Bが頂点Eと重なったときから、三角形ABCは三角形DEFの中に完全にふくまれます。よって、頂点Bの動いた長さに着目すると、(9＋8)÷1＝17(秒後)から完全にふくまれることがわかります。

また、頂点Cが頂点Fと重なったときまで、三角形ABCは三角形DEFの中に完全にふくまれます。よって、頂点Cの動いた長さに着目すると、(8＋12)÷1＝20(秒後)まで完全にふくまれることがわかります。

したがって、17秒後から20秒後までとなります。

(4) A2 知識 再現する

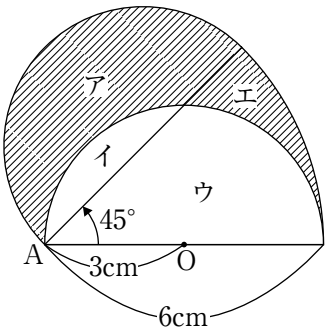
(平面図形の回転)

右の図のように、記号をふります。

ア＋イの半円とイ＋ウの半円の面積は等しいので、同じイを取り去ったアとウの面積も等しくなり、斜線(しゃせん)部分の面積はウ＋エの扇形(おうぎがた)の面積と等しくなります。

3×2＝6(cm) ……ウ＋エの扇形の半径

$6\times6\times3.14\times\frac{45}{360}=14.13$(cm²)



(参考)

右の図より、図形全体の面積は、(半径３cmの半円)＋(扇形ABB')で求められます。

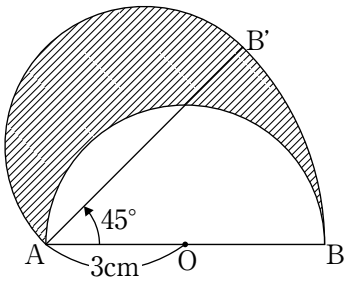
白い部分の面積は(半径３cmの半円)なので、

(斜線部分の面積)

＝(図形全体の面積)－(白い部分の面積)

＝(半径３cmの半円)＋(扇形ABB')－(半径３cmの半円)

＝(扇形ABB')　とも考えられます。

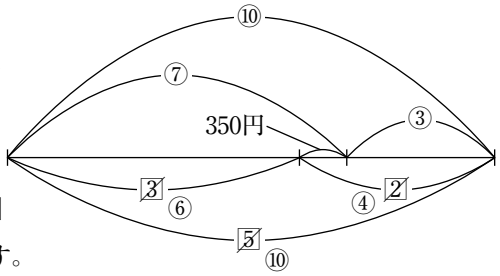


(5) B1 知識 置換 情報を獲得する

(倍数算)

２人の間でお金のやりとりをしてもAさんとBさんの所持金の和は変わりません。

AさんとBさんの所持金をそれぞれ⑦、③、やりとりした後の所持金をそれぞれ3、2として、右の図のように表すことができます。



⑦＋③＝⑩と3＋2＝5が等しいので、

⑩＝5より、②＝1、3＝②×3＝⑥と表せます。

⑦－⑥＝①が350円にあたるので、Aさんの所持金は350×7＝2450(円)です。

(6) B2 知識 置換 情報を獲得する

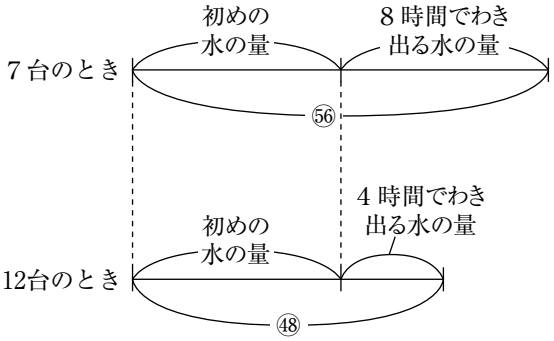
(ニュートン算)

１台のポンプが１時間にくみ出す水の量を①とします。

①×7×8＝㊻……ポンプ７台が８時間でくみ出す水の量

①×12×4＝㊽……ポンプ12台が４時間でくみ出す水の量

ポンプ７台と12台のときのくみ出す水の量を線分図に表すと、下のようになります。



(㊻－㊽)÷(8－4)＝②……１時間にわき出る水の量

㊻－②×8＝㊵　……初めの水の量

①×18－②＝⑯……ポンプ18台が１時間に減らす水の量

㊵÷⑯＝2.5（時間）より、２時間30分かかります。

3　（面積と辺の比）

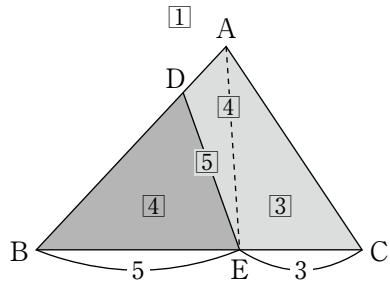
「面積を二等分」という条件を、どのように利用するのかがポイントとなる問題です。「二等分」という言葉の中には「等」という文字があります。等しくなるものを見つけることは、新たな情報を得るための条件となります。問題に取り組んでいるとき、どのように「等しい」という条件を利用しようとしたのかをふり返っておきましょう。

(1)　A2　情報を獲得する　再現する

三角形ABEと三角形AECは、底辺をそれぞれBE、ECと見ると、高さが等しいことがわかります。

よって、三角形ABEと三角形AECの面積比は、底辺比のBE：ECと等しいので、5：3とわかります。

(2)　B1　情報を獲得する　特徴的な部分に注目する



三角形ABEの面積を5、三角形AECの面積を3とします。

5＋3＝8……三角形ABCの面積

DEは三角形ABCの面積を二等分しているので、三角形DBEの面積は8÷2＝4です。

また、三角形DBEと三角形ADEは、底辺をそれぞれBD、DAと見ると、高さが等しい三角形であることがわかるので、BD：DAは三角形DBEと三角形ADEの面積比と等しくなります。

5－4＝1……三角形ADEの面積

よって、BD：DA＝4：1＝4：1とわかります。

4　（規則性）

きまりを見つけるとき、分数そのものを数としてとらえるだけでなく、分母の変化の仕方、分子の変化の仕方、分母と分子の関係などの、複数の視点（してん）で数の並びをとらえることが大切です。

$\frac{1}{1}$、$\frac{2}{1}$、$\frac{1}{2}$、$\frac{3}{1}$、$\frac{2}{2}$、$\frac{1}{3}$、$\frac{4}{1}$、$\frac{3}{2}$、$\frac{2}{3}$、$\frac{1}{4}$、$\frac{5}{1}$、$\frac{4}{2}$、…

のように区切り、左から「1組目、2組目、3組目、4組目、5組目、…」とします。

(1)　B1　情報を獲得する　調べる

組の数と、その組に並ぶ分数の個数は等しくなります。

1＋2＋3＋4＋5＝15より、５組目までに全部で15個の分数が並びます。

よって、16番目の分数は、16－15＝1より、６組目の最初の分数とわかります。

組の最初に並ぶ分数の分母は１で、分子は組の数と同じなので、16番目の分数は $\frac{6}{1}$ です。

(2) B1 情報を獲得する 調べる

$\frac{2}{1} \times \frac{1}{2} = 1$、$\frac{3}{1} \times \frac{2}{2} \times \frac{1}{3} = 1$、$\frac{4}{1} \times \frac{3}{2} \times \frac{2}{3} \times \frac{1}{4} = 1$、…

のように、各組に並ぶ分数をすべてかけ合わせると、どれも必ず１になります。

よって、初めから16番目までの分数をすべてかけ合わせたときの積は

$1 \times 1 \times 1 \times 1 \times 1 \times \frac{6}{1} = \underline{6}$です。

(3) B1 特徴的な部分に注目する 一般化する

それぞれの組に並ぶ分数の分子と分母をたした数は、どれも組の数に１をたしたものになります。例えば、３組目の分数を見ると、分子＋分母＝3＋1＝2＋2＝1＋3＝4となっています。

$\frac{33}{3}$ の分子と分母の数をたすと33＋3＝36となることから、$\frac{33}{3}$ は36－1＝35(組目)の分数とわかります。

また、分母が３であることから、その組の中の３番目の分数であることがわかります。

よって、$\underbrace{(1+34) \times 34 \div 2}_{\text{34組目までの分数の個数}} + 3 = \underline{598}$(番目)です。

5 **(条件整理)**

どのように状況を整理しながら取り組んだでしょうか。問題を解き進めるために必要な情報は、数値(すうち)だけで書かれているとは限りません。問題文に書かれている言葉のひと言一言の意味を確かめながら問題に取り組むことの大切さを確認しましょう。

(1) B1 情報を獲得する 再現する

100円硬貨(こうか)１枚(まい)と10円硬貨２枚の合計120円を支はらったとき、おつりは50円硬貨１枚となり、枚数が最も少なくなります。

(2) B1 情報を獲得する 特定の状況を仮定する

おつりに10円硬貨が１枚あるので、支はらうときに10円硬貨を使うことができないことがわかります。よって、10円以外の硬貨をすべて使って支はらうときが最大になります。

500＋100＋100＋1＋1＋1＋1－(50＋10)＝644(円)

(3) B2 情報を獲得する 調べる 順序立てて変化をとらえる

500＋100×2＋10×3＋1×4＝734(円) ……初めに持っているお金

・１番目にA店で買い物をしたときの残りの硬貨の枚数は、

734－57＝677(円)＝500×1＋100×1＋50×1＋10×2＋5×1＋1×2より、

1＋1＋1＋2＋1＋2＝8(枚)となります。

・１番目にＢ店で買い物をしたときの残りの硬貨の枚数は、
734－145＝589(円)＝500×1＋50×1＋10×3＋5×1＋1×4より、
1＋1＋3＋1＋4＝10(枚)となります。
・１番目にＣ店で買い物をしたときの残りの硬貨の枚数は、
734－426＝308(円)＝100×3＋5×1＋1×3より、
3＋1＋3＝7(枚)となります。
よって、一番初めに買い物をしたのはＣ店であるとわかります。
・2番目にＡ店で買い物をしたときの残りの硬貨の枚数は
308－57＝251(円)＝100×2＋50×1＋1×1より、
2＋1＋1＝4(枚)となります。
・2番目にＢ店で買い物をしたときの残りの硬貨の枚数は、
308－145＝163(円)＝100×1＋50×1＋10×1＋1×3より、
1＋1＋1＋3＝6(枚)となります。
よって、２番目に買い物をしたのはＡ店であるとわかります。
以上のことから、買い物をした店の順番は、Ｃ→Ａ→Ｂとなります。

6　**(数の性質)**

(2)では数を3つの数の積に分解するというあまり見慣れない問題ですが、確信の持てる答案を作ることができたでしょうか。素因数分解や(1)で求めた約数を利用して合理的に考えることができたかどうか、しっかりふり返っておきましょう。

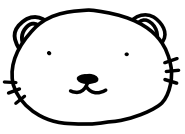
(1)　A1　**知識**

60を２つの整数の積で表すと、
60＝1×60＝2×30＝3×20＝4×15＝5×12＝6×10となります。
よって、12個とわかります。

(2)　B1　**調べる**　**特徴的な部分に注目する**

① 60の約数は1、2、3、4、5、6、10、12、15、20、30、60です。３つの整数の中に12以上の数が含まれると和が13をこえてしまうため、３つの数のうちの最大のものは10以下であることがわかります。

(2)①、②では、考えられる場合に分けて、それぞれをていねいに調べることが大切だよ。



・最大の数が10のとき
和を13にするには残りの２つの数を１と２にしなければいけませんが、1×2×10＝20なので不可です。
・最大の数が６のとき

和を13にするには残りの２つの数の和を13－6＝7に、積を60にするには残りの２つの数の積を60÷6＝10にしなければいけません。このとき、２と５を選べば条件に合います。

よって、答えは(2、5、6)です。

② B2 情報を獲得する 調べる 特徴的な部分に注目する

・１を最小の数とする組は(1)より、(1、1、60)、(1、2、30)、(1、3、20)、(1、4、15)、(1、5、12)、(1、6、10)の６通りがあります。

・２を最小の数とする組は(2、2、15)、(2、3、10)、(2、5、6) の３通りがあります。

・３を最小の数とする組は(3、4、5)の１通りがあります。

4×4×4＝64より、４以上の数を最小とする３つの整数の組はないことがわかります。

6＋3＋1＝10(通り)

7 (水位変化とグラフ)

水位の変化を状況と結びつけて考える問題です。グラフと容器を対応させ、どんなところに着目すると水位の変化のようすをとらえることができるのかを確認しておきましょう。

(1) B1 情報を獲得する

25×30×40÷75＝400(cm³)

(2) B1 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

水を入れ始めてから96分後の水面の高さは40cmで、

満水時の水面の高さは50cmです。

$96\times\frac{50}{40}=120$(分後)

(3) B2 置換 順序立てて変化をとらえる 特徴的な部分に注目する

グラフより、水道管Bからは75分で②の高さ25cm分の水が入っています。また、75分から96分の21分間(＝96－75)は、②の部分に水道管Aと水道管Bの両方から水が入っています。そのうち水道管Bからは、$25\times\frac{21}{75}=7$(cm)分の水が入っているので、水道管Aからは40－25－7＝8(cm)分の水が入っていることがわかります。

$400\times\frac{7}{8}=350$より、水道管Bから入る水の量は毎分350cm³です。

(400＋350)×120＝90000(cm³) ……水そうの容積

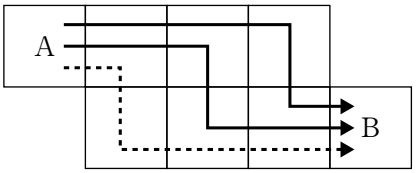
90000÷50÷30＝60(cm)

8　（立体と場合の数）

どの面とどの面が向かい合う(平行になる)のかということに着目することで、さいころをころがしたときに、上に出る目が何になるのかを考えます。さいころの向かい合う面の数をたすと7になることを利用すると、目の位置がとらえやすくなります。

(1) B1 情報を獲得する 調べる

次のように、2通りあります。



(2) B1 情報を獲得する 調べる

(1)の3通りの行き方について、サイコロの上の目の数字を順にたどると、次のようになります。

1	4	6	3	
			5	1

1	4	6		
		5	3	2

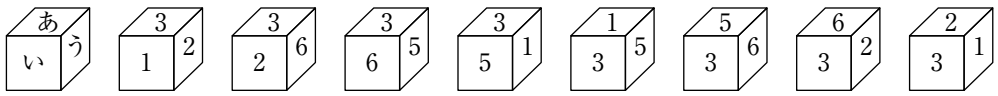
1	4			
	5	6	2	1

よって、考えられる目は、1、2とわかります。

(3) B2 情報を獲得する 調べる 特徴的な部分に注目する

(2)より、Bのマス目にきたとき、サイコロの上の目になるのは、はじめにAのマス目に置いたサイコロの上の目と正面の目であることがわかります。

よって、Bのマス目にきたときにサイコロの上の目が3である場合は、はじめにAのマス目に置いたサイコロの上の目か正面の目が3の目になる置き方を考えればよいことになります。

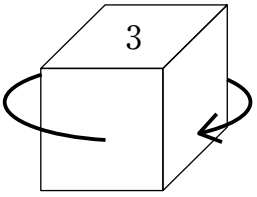


以上のように、「あ、い、う」にあてはまる数の組は、「3、1、2」、「3、2、6」、「3、6、5」、「3、5、1」、「1、3、5」、「5、3、6」「6、3、2」、「2、3、1」の８通りあります。

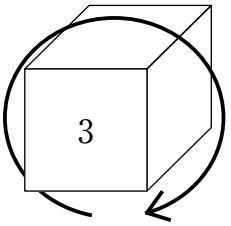
(参考)

(2)より、Bのマス目にきたときのサイコロの上の目は、Aのマス目に置いたサイコロの上の目(あ)か正面の目(い)と同じになることがわかります。

「あ」が３の目だとすると、「い」「う」の組み合わせは、右図のように回すことで４通りあることがわかります。



「い」が３の目だとすると、「あ」「う」の組み合わせは、右図のように回すことで４通りあることがわかります。



よって、全部で4＋4＝8(通り)です。

小学6年 理科 ―― 解答と解説

1

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
北	エ	45 度	ウ	イ
21	22	23	24	25

(6)										
地球が		地	軸	を	か	た	む	け	た	ま	ま
公	転	を	し	て	い	る				から。

26

2

(1)				(2)
A	接眼 レンズ	B	対物 レンズ	3.6 cm
27		28		29

(3)	(4)		(5)
イ	2番目 オ	4番目 ア	エ
30		(完答) 31	32

(6)							
ア	アメーバ	イ	ミジンコ	ウ	ミドリムシ	エ	ミカヅキモ
33		34		35		36	

(7)	(8)
イ	ウ・エ
37	(完答) 38

(配点)

- 1 各3点×6＝18点
- 2 (1)～(8)
  - 各2点×12＝24点
  - 他各3点×2＝6点
- 3 各3点×6＝18点
- 4 (3)各2点×5＝10点
  - 他各3点×2＝6点
- 5 各3点×6＝18点

} 計100点

(9)	(10)
数が減少する	45 匹
39	40

3

(1)	(2)	(3)
5 kg	30 cm	6 kg
41	42	43

(4)	(5)	(6)
15 cm	15 kg	10 kg
44	45	46

4

(1)	(2)	(3)									
エ	(光の)屈折(くっせつ)	①	○	②	○	③	×	④	×	⑤	○
47	48	49		50		51		52		53	

5

(1)	(2)	(3)
黄 色	7	3 種類
54	55	56

(4)	(5)	(6)
ウ	エ	ア・ウ・エ・カ
57	58	(完答) 59

【解　説】

1　季節と太陽についての問題

(1) A1 知識

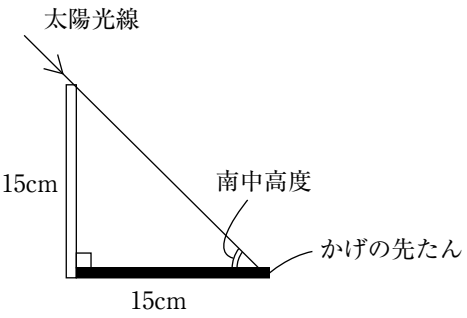
向かって左が西で、向かって右が東になるように立っているとき、その正面にあたるXの方角は北になります。

(2) A2 知識 置換

地球は西から東へ向かって1日に1回転するように自転しており、太陽は東の地平線からのぼり、南の空を横切り、西の地平線へとしずむように動いて見えます。地面に立てた棒のかげは、太陽がある方角とは反対の向きにのびるので、そのかげの先たんは西→北→東へと移動すると考えられます。したがって、12時の真北の方角にあたる①にあったかげの先たんは、時間の経過とともに、東の方角にあたるエの方向へと移動していくと考えられます。

(3) B1 抽象化 置換

南中したときの太陽の方向と地面の間の角度が南中高度になります。この日、南中したときの棒の長さとかげの長さが等しくなっていることから、太陽光線が地面に届くようすは右図のようになっています。この三角形は、たてと横の長さがともに15cmとなった直角二等辺三角形なので、この日の南中高度は45度であったことがわかります。



(4) A2 知識 比較

日本において、夏至の日には太陽が北にずれた東の地平線からのぼり、南の高い空を横切り、北にずれた西の地平線へとしずみます。すると、日の出直後のかげは南にずれた西の方角にのび、南中したときは真北の方角に短く、日の入り前には南にずれた東の方角にのびます。このことから、夏至の日のかげの先たんの動きはウのようになります。

(5) A2 知識 比較

南中高度は観察地点の緯度(いど)によって変わります。鹿児島よりも北に位置する札幌は、緯度(北緯)が大きくなっているため、太陽の南中高度は低くなるので、そのときにできるかげの長さは鹿児島より札幌の方が長くなります。

(6) B2 理由 置換 具体化

季節によって太陽の動く通り道が変化するのは、地球が地軸をかたむけた状態のままで、1年をかけて太陽のまわりを1周公転していることが原因で、北半球では地球が太陽に向かってかたむいている夏至の日には太陽の高さが高くなり、太陽と逆の向きにかたむいている冬至の日には太陽の高さが低くなります。

2　生物のつながりについての問題

(1) A1 知識

図１のけんび鏡において、観察者がのぞく所についているＡは接眼(せつがん)レンズ、プレパラートに近づけるＢは対物(たいぶつ)レンズとよばれています。

(2) B1 理由 置換

けんび鏡を使って見たときの倍率は、接眼レンズの倍率と対物レンズの倍率の積になります。したがって、15倍の接眼レンズと40倍の対物レンズを使ったときは、15×40＝600(倍)の大きさで見えることになり、実際の大きさが60ミクロン(＝0.06mm)のプランクトンは、0.06×600＝36(mm)に拡大されます。10mmで1cmなので、36÷10＝3.6cmが答えとなります。

(3) A2 知識 置換

けんび鏡を使ってプレパラート上の対象物を見ると、上下と左右が両方とも逆になって見えます。このことから、図２のように視野の右上に見えたプランクトンは、実際には左下におり、これを視野の中央に移動させるには、プレパラートをイの方向に動かせばよいとわかります。

(4) A2 知識 比較

けんび鏡にレンズを取り付けるときは、鏡筒(きょうとう)の中にほこりなどを入れることのないように、接眼レンズ→対物レンズの順に取り付けます。そして、接眼レンズをのぞきながら反射鏡の向きを変えて、視野が十分に明るくなるよう調節します。その後にプレパラートをのせ台(ステージ)に置いて観察を始めますが、ピントを合わせる(はっきりと見えるようにする)ときは、対物レンズがプレパラートにぶつかることのないよう、横から見て対物レンズをプレパラートにぎりぎりまで近づけたあとで接眼レンズをのぞき、はっきり見える位置まで対物レンズを遠ざけるようにして調整します。

(5) A2 知識 比較

接眼レンズや対物レンズをかえて倍率を高くすると、視野がせまくなるだけでなく、レンズを通過する光の量も減るために暗くなってしまいます。

(6) A1 知識

形を自由に変えながらゆっくりと動くアのプランクトンはアメーバです。目やしょっ角が見られるイのプランクトンはミジンコです。べん毛を持ち、それを左右にゆらしながら動くウのプランクトンはミドリムシです。三日月のような形をしたエのプランクトンはミカヅキモです。これらのような水中に住む小さな生物をまとめてプランクトンとよんでいます。

(7) A2 知識 比較

ミジンコはエビやカニと同じ甲かく類の動物で、１つの細胞だけからできている他のプランクトンにくらべて大きくなっています。

(8) A2 知識 分類

ウのミドリムシとエのミカヅキモは葉緑体を持ち、日光のエネルギーを利用して二酸化炭素と

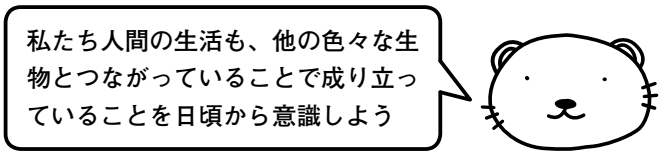
水からデンプンと酸素を作ります。このようなはたらきを光合成とよんでいます。

(9) B1 分類 類推

植物プランクトンは、それよりも体の大きい動物プランクトンに食べられ、動物プランクトンは小型の魚に食べられます。このように、自分の環境においていろいろな生物が食べる食べられるの関係でつながれていて、これを『食物連鎖』とよんでいます。エのミカヅキモは植物プランクトンで、イのミジンコに食べられるので、池の中にいるミジンコの数を急に増やすと、えさとなるミカヅキモがたくさん食べられてしまい、翌日にはその数が一時的に減少すると考えられます。しかし、しばらくするとえさが不足してミジンコの数はしだいに減少していくため、再びこれらの数は元にもどってバランスがとれた状態になります。

(10) B1 理由 置換

ビオトープ全体にいるトンボの数に対する、①で印をつけられたトンボの数の割合と、数日後につかまえたトンボの数に対する、印のついていたトンボの数の割合は等しくなることから、ビオトープ全体にいるトンボの数を□とすると、18：□＝8：20となります。このことから、□×8＝18×20＝360により、□＝360÷8＝45(匹)と求められます。



3 力のつり合いについての問題

(1) B1 抽象化 置換

天井などに固定され、力の向きを変えるはたらきだけをするかっ車を定かっ車といい、固定されておらず、ひもを引くことによって上下に動くかっ車を動かっ車といいます。10kgの物体は動かっ車にかかる左右のひもによって支えられているため、左右のひもそれぞれに、10÷2＝5(kg)の力が加わっています。この動かっ車にかかるひものうち、左側のひもは天井によって支えられていますが、右側のひもは定かっ車によって向きが変えられ、ひもを持つ人が支えなければならないため、人がひもを引く力の大きさは5kgになります。

(2) B1 抽象化 置換

人がひもを60cm引き下げると、動かっ車にかかるひもが60cm巻き取られます。ひもは動かっ車によって２つ折りにされた状態になっているため、動かっ車とそれにつながれた物体は、60÷2＝30(cm)だけ持ち上がります。

(3) B1 抽象化 置換

図２のように２個の動かっ車と１個の定かっ車を組み合わせると、24kgの物体がまず１個目の動かっ車にかかる左右のひもによって12kgずつ支えられ、２個目の動かっ車の左右にかかるひもによってさらに半分の６kgずつ支えられています。したがって、図２の人は定かっ車で向きが変えられたひもを6kgの力で引き下げれば、物体を支えられることがわかります。

(4) B1 抽象化 置換

(2)により、動かっ車を１個用いると、ひもを引いた長さの半分しか物体が持ち上がらなかったことから、図２のように２個の動かっ車を用いて物体を持ち上げたときは、人がひもを引いた長さの $\frac{1}{4}$ しか物体が持ち上がらないことになります。したがって、図２で人が60cmひもを引き下げたときは、60× $\frac{1}{4}$ ＝<u>15</u>(cm)だけ物体が持ち上がるとわかります。

(5) B1 抽象化 置換

図３で、ゴンドラに乗った体重30kgの人は、定かっ車にかかる左右のひもによって支えられているため、30÷2＝15(kg)の力がそれぞれのひもにかかっています。したがって、定かっ車にかかる左側のひもを引いている人は、自分の体重を支えるのに15kgの力でひもを引き下げなければなりません。

(6) B2 理由 抽象化 置換

図４において、ゴンドラは動かっ車に直接つながれているため、30kgの体重は人が持っているひもと動かっ車にかかる左右のひもの合計３か所によって支えられていることがわかります。この３か所はすべて１本のひもでつながっているため、すべて同じ力が加わっているので、そのうちの１か所を持つ人の力は、30÷3＝<u>10</u>(kg)となります。

4　光の進み方についての問題

(1) A2 知識 比較

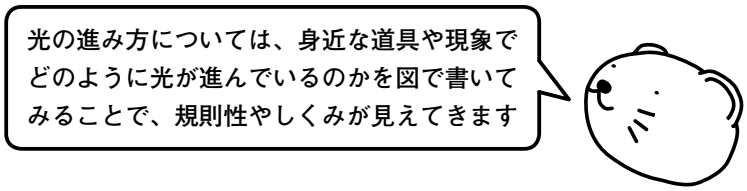
水中をななめに進んだ光が空気中に出るときには、その境界面でエのように水面に近づくように折れ曲がって進みます。

(2) A1 知識

(1)のように、２種類の物質の境界面で光が折れ曲がって進む現象を、光の屈折(くっせつ)とよんでいます。

(3) A2 知識 抽象化

地球のつくるかげの中に月が入ることによって起こる月食のうち、満月が完全に欠ける現象をかいき月食とよんでいます。このとき、真空の宇宙を進む太陽光線が地球の表面にある空気の層を通過するときに屈折(くっせつ)し、本来光が届かないはずの月面に赤い光が当たって反射すると、地球からは①のようにうっすらと赤銅色(しゃくどういろ)の月が観察されます。②のはしが折れ曲がって見える現象も空気と水の境界で光が屈折するためにおこる現象ですが、これと同じく、空気とガラスの境界でも光の屈折が起こります。これを利用した道具が⑤の虫めがねです。③は光の反射、④は光の直進によって起こる現象なので光の屈折が関係している現象にはあてはまりません。



5　いろいろな水溶液についての問題

(1) A2 知識 分類

表により、スポーツドリンクのpHが3.8とわかります。pHが７のときにその溶液は中性で、これより数値が小さくなるほど強い酸性の溶液となるため、このスポーツドリンクは酸性の溶液だとわかります。BTB溶液は、酸性の溶液に加えると黄色、中性の溶液に加えると緑色、アルカリ性の溶液に加えると青色になる指示薬なので、答えは黄色になります。

(2) A2 知識 理由

水蒸気を冷やすことによって得られた液体の水(これを蒸留水といいます)は、何も溶けていない純粋な状態の水になっているため、中性を示してpHの値は７になります。

(3) B1 抽象化 分類

表により、pHの値が5.5よりも小さくなっているものは、コーラ・スポーツドリンク・オレンジジュースの３種類があるとわかります。

(4) B1 置換 理由

紅茶のpHは5.7で弱い酸性の溶液ですが、これにpHが6.8で中性に近い牛乳を加えると、酸性の程度がうすめられて中性に近くなっていき、pHの値は5.7から6.8の間を示すようになります。

(5) B1 理由 類推

pHの値が７よりも大きいアルカリ性の溶液をなめると、ヒトはそれを苦い味として感じるため、飲み物として好まれることはありません。pHの値が大きく強いアルカリ性の溶液は、人体に有害なために小量をなめるだけでも危険ですが、水に溶けたときに弱いアルカリ性を示す重そうなどは、食用のベーキングパウダーや入浴剤としても利用されています。

(6) A2 知識 分類

せっけん水・アンモニア水・重そう水・石灰水の４つは、どれもアルカリ性の水溶液なので、pHの値は７よりも大きくなります。炭酸水とお酢はどちらも酸性の水溶液なので、pHの値は７よりも小さくなります。

（記述問題の採点について）
・解答の字数制限にしたがっていない場合…不正解
・明らかな誤字・脱字がある場合　…－１点
・文章表現の不備がある場合　…－１点

1(6)『公転』ということばを使っていない場合…不正解

小学6年 社会 ―― 解答と解説

1

問1	問2				
北海道	(1)	ア	(2)	千葉県	
21	22				23

問3	問4		問5	問6
イ	客	土	イ (と) ウ	シラス (台地)
24	25		(完答・順不問) 26	27

問7			
(1)	宮崎 (平野)	(2)	促成 (そくせい) (栽培)
28			29

問7	問8	問9
(3) 暖房に使用するエネルギーは輸入に頼っているから。	エ	ウ
30	31	32

2

問1	問2	問3			
イ	ウ	(1)	イ	(2)	ア (と) エ
33	34	35			(完答・順不問) 36

問4	問5	問6	問7	問8
里 (さと) (山)	ウ	エ	エ	エ
37	38	39	40	41

問9	問10	問11	問12	問13
ア (と) エ	イ	ウ	ア	イ
(完答・順不問) 42	43	44	45	46

問14
ア
47

3

問1	問2	問3
ウ	イ	軍事（ぐんじ）　（費）
48	49	50

問4	問5	問6
日露戦争は、日本とロシア二国間の戦争だったので、 第二条の規定に基づきイギリスは中立を守った。	ウ	ア
51	52	53

問7	問8	問9			
エ	ア	⑧	オ	⑨	イ
54	55	56			57

4

問1	問2	問3				問4	問5
ウ	イ	(1)	ウ	(2)	エ	エ	ア
58	59	60		61		62	63

問6	問7			
358（日間）	(1)	ア	(2)	エ
64	65		66	

（配点）
4 問2・問6　各3点
1 問7（3）・2 問9・3 問4　各4点
上記以外　各2点　計100点

【解　説】

1　日本の農業に関する問題

問１　A1　知識

2017年の米の収穫量は多いほうから新潟県・北海道・秋田県・山形県の順となっています。小麦は北海道の収穫量が約607.6千ｔで日本全国の収穫量の約67％を占めており、次いで福岡県・佐賀県・愛知県の順になっています。

問２

（1）　A2　置換　知識

2016年の都道府県別生産量は、ピーマンが茨城県、宮崎県、高知県、鹿児島県の順、レタスは長野県、茨城県、群馬県、長崎県の順、トマトは熊本県、北海道、茨城県、愛知県の順、キャベツは群馬県、愛知県、千葉県、茨城県の順です。

（2）　A1　知識

千葉県の2016年の農業産出額は約4711億円で、都道府県別では北海道、茨城県、鹿児島県に次ぐ第４位となっています。2017年の農作物収穫量では、ほうれんそう、ねぎの他に、かぶ、日本なし、落花生が都道府県別生産量第１位となっています。

問３　A1　知識

代かきは田に水を入れて水田を整地する作業、田起こしは固くなった土を深く耕すなどの作業、脱穀は収穫した稲を茎からはずす作業のことで、稲こきともいいます。中干しは７月頃水田の水を抜いて一度水田を乾かす作業です。

問４　A2　置換　知識

石狩平野は水はけが悪く酸性が強いため作物ができない泥炭地が広がっていたため、他から良質な土を入れて耕地を改良する客土を行い、農業が可能な土地に変わりました。現在では北海道の稲作の中心地となっています。

問５　A2　知識　比較

食生活の洋風化にともなって消費者の米ばなれが進んでいるため、美味しい米の開発や様々な米の利用法が考えられたりしています。

問６　A1　知識

火山灰からなるシラス台地は、水持ちが悪いため、灌漑施設を設けるなどしない限り稲作にはあまり適しません。そこで鹿児島県の笠野原などシラス台地ではさつまいもの栽培が盛んでした。笠野原では現在ではダムの建設や灌漑施設の整備などが行われたため、野菜などの生産が盛んになっています。

問７

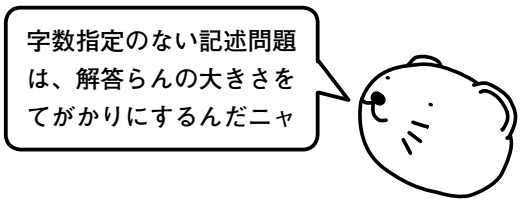
（1）　A1　知識

施設園芸の盛んな平野にはｃの宮崎平野の他に、高知平野や熊本平野などがあります。

（2）　A1　知識

気温が低い時期にビニルハウスなどを利用して栽培する促成栽培は、一般的に冬温暖な地方に多く見られます。宮崎平野ではきゅうり、高知平野ではピーマン、熊本平野ではトマトなどを盛んに生産しています。

（3） B2 置換 理由



施設園芸は気温が低い時期に、ビニルハウスなどの施設を利用して夏が旬の作物を栽培することができます。しかし室内を暖めるための暖房費がかかります。暖房のためのエネルギーは図から分かるように日本ではほとんど自給できず輸入に頼っています。そのため「完全に国内だけで生産できているということにはならない」と言われているのです。施設園芸ではその他に台風で施設が倒壊しないようにするためなどの対策にも費用がかかります。

問８ A1 知識

茶は温暖で排水の良い土地が栽培適地となります。青森県弘前市の年平均気温は10.2℃と冷涼なため茶の栽培は行われていません。日本海側の茶の栽培の北限は新潟県村上市です。

問９ A2 置換 知識

きくは秋になり日が短くなると咲く性質があるため、９月頃から夜温室で電灯で照らして花の咲く時期を遅らせ、１月～４月に出荷する農業が行われています。このきくの栽培方法を電照栽培といい、愛知県の渥美半島で盛んに行われています。アは下北半島、イは能登半島、エは伊豆半島です。

2 日本の林水産業に関する問題

問１ A2 置換 知識

アの津軽のひばは天然の三大美林に、ウの天竜のすぎとエの吉野のすぎは人工の三大美林に含まれます。イの白神山地は標高1000m ～ 1250mほどの山地で、広大なぶなの原生林が広がっていることなどから1993年に日本で最初に世界遺産に登録されました。

問２ A1 知識

ウの間伐は森林を健康に保つための大切な作業です。林業の作業には他にイの下草刈り、エの枝打ちなどがあります。林業は植林から伐採まで一般的には40 ～ 50年かかる大変な作業です。

問３

（1） A2 知識 比較

森林には二酸化炭素を吸収して酸素を供給する働きがあります。

（2） B1 知識 理由

青森県の野辺地周辺では吹雪や風の害から鉄道を守る防風雪林が見られます。他に水源涵養林、なだれ防止林、魚付林などを合わせて保安林といいます。保安林とは公共の目的のために伐採や開発が制限されている森林のことです。

問４ A1 知識

里山にはくぬぎやこならなどが繁る雑木林があり、村人は薪などの燃料になる木をとったり、落ち葉を集めて肥料にしたりしました。

問５ A2 知識 置換

アは野菜、イは肉類、ウは木材、エは大豆の自給率です。

問6 A2 **知識** **理由**

おせち料理の食べ物には様々な願いが込められています。数の子はにしんの卵で、数が多いことから子孫が増えることに対する願いが、えびには腰が曲がるまで長生きすることへの願いが、紅白のかまぼこにはおめでたい気分が、だて巻きには学業成就の願いがそれぞれ込められています。

問7 B1 **知識** **理由**

大陸棚ではプランクトンがよく育つため、栄養が豊富な好漁場となっています。そのため大陸棚が広がっている東シナ海は、さば類やまあじなどの好漁場となっています。

問8 A1 **知識**

2017年の水産物輸入量はさけ・ます、まぐろ、えびの順になっています。金額順ではさけ・ます、えび、まぐろの順になります。

問9 B1 **知識** **理由**

1973年の石油危機により、石油の値段が大幅に上昇したため、燃料を大量に消費する遠洋漁業は出漁するための費用が上昇しました。また1970年代に多くの国が経済水域を設定したことにより、水域内での漁業に支障がでるようになりました。これらのことから遠洋漁業は大きな打撃を受けました。

問10 A1 **知識**

底引き網漁法（トロール漁法）は主として海底にいるたら類やかれいなどを漁獲する漁法です。

問11 A1 **知識**

いわし類の漁獲の中心となっていたまいわしの漁獲量が、1988年の約449万トンから1993年の約171万トン、2006年の約５万トンへと急減したことにより、沖合漁業は大きな影響を受けました。

問12 A1 **知識**

広島湾ではかきが盛んに養殖されています。広島湾のかきの養殖は、江戸時代の中期以降広島藩の保護奨励のもと発展したと言われています。宮城県のかき養殖は東日本大震災で大きな影響を受けましたが、漁業者の努力などにより復活してきました。まだいは愛媛県や熊本県など、のり類は佐賀県や兵庫県など、わかめ類は岩手県や宮城県などの収獲量が多くなっています。

問13 A2 **知識** **比較**

イは栽培漁業の問題点です。

問14 A1 **知識**

国際捕鯨委員会（IWC）は、鯨資源の保存と捕鯨産業の秩序ある発展を図ることを目的として1946年に発足した国際機関で、事務局はイギリスのケンブリッジにあります。ODAは政府開発援助、PKOは国連平和維持活動、WTOは世界貿易機関の英語の略称です。

3 明治～第二次世界大戦までの歴史に関する問題

問1 A1 **知識**

日清戦争は、1894年に朝鮮半島南西部で起きた甲午農民戦争を朝鮮政府が鎮圧できず、支援を求められた清軍が出兵し、日本軍も対抗して出兵したことにより起きました。三・一独立運動と五・四運動は1919年に、義和団事件は1899年から1900年にかけて起きています。

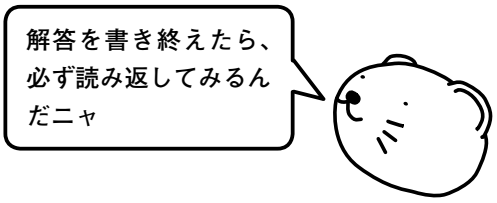
問2 A2 **知識** **置換**

イは1894年から1895年にかけて起きた日清戦争直前の国際関係を示した図で、日本と清が釣り上げようとしている朝鮮を、橋の上のロシアが横取りしようと狙っているところです。アは1886年に起こったノルマントン号事件、ウは日露戦争直前の国際関係を、エは日清戦争後アジアの中心的存在になった日本が、全アジア人を率いて西欧諸国へ進軍しようとしている様子をナポレオンになぞらえた図です。

問3 A2 **知識** **理由**

日清戦争の講和会議には、日本側からは当時首相だった伊藤博文と外務大臣だった陸奥宗光が、清側は李鴻章らが参加しました。この会議の結果結ばれた下関条約で、清は賠償金２億テールを払うことを認めました。日本は大部分を軍事費にあてましたが、その一部は八幡製鉄所の建設に使われました。八幡製鉄所は1901年に操業を開始しました。

問4 B2 **知識** **理由** **推論**



第一次世界大戦の開戦に際し、日本は日英同盟に基づきドイツに参戦しました。日英同盟では第三条にあるように日本、イギリスのどちらかが二国以上と交戦したときは片方の国は参戦するという取り決めになっていたからです。一方第二条にあるように日本またはイギリスがひとつの国と戦争になったときは、イギリスまたは日本は中立を守る規定になっていました。その結果、日本とロシアの間に起きた日露戦争ではイギリスは中立を守ることになりました。第一次世界大戦中日本の輸出は急増し、他国から借りているお金より貸しているお金の方が多い債権国に変りました。

問5 A2 **知識** **比較**

日本は第一次世界大戦中の1915年に、中国の袁世凱政権に対して山東半島のドイツの権利を日本に譲ることや、鉱山などを日本との共同経営にすることなどの内容からなる、二十一か条の要求を出し認めさせました。ウは日露戦争後に結ばれたポーツマス条約の内容です。

問6 A2 **知識** **分類**

Ｂの文は1914年から1920年の間のできごとについて書かれています。アは1917年、イは1911年、ウは1923年、エは1926年のことです。

問7 A1 **知識**

1931年９月に、日本軍により奉天郊外の柳条湖で南満州鉄道の線路が爆破されました。これを柳条湖事件といいます。日本軍はこの事件を中国側の仕業として攻撃を開始し満州を占領しましたが、これを満州事変といいます。盧溝橋事件は1937年７月に、江華島事件は1875年９月に、秩父事件は1884年10月～11月にそれぞれ起きました。

問8 A1 **知識**

国際連盟は柳条湖事件を調査するために、イギリス人のリットンを団長とする調査団を派遣しました。国際連盟は調査団の報告書をもとに対日勧告案を採択したため、1933年３月、日本は国際連盟脱退を通告しました。

問9 A2 **知識** **理由**

五・一五事件の結果、それまで8年間続いていた政党政治が終わり、以後軍人などが内閣をつくるようになりました。二・二六事件以降は軍部の政治に対する発言が強まりました。

4 第二次世界大戦後の歴史に関する問題

問1 A2 **知識** **理由**

朝鮮戦争は1950年に始まり、1953年に休戦協定が締結されました。特需景気とは朝鮮戦争で必要となった大量の軍用物資をアメリカが日本に注文したために、経済活動が活発化し起きた好景気のことです。

問2 A2 **知識** **具体化**

GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）は五大改革指令を日本政府に伝えました。写真2は女性が投票しているところを示していて、これは五大改革指令のうち婦人の解放にあたるものです。1945年に20歳以上の男女全員に普通選挙を認めた新しい選挙法が定められ、翌1946年に行われた第22回衆議院議員総選挙で、39人の女性議員が誕生しました。

問3

（1） A1 **知識**

池田勇人首相は1960年に、1961 ～ 1970年の10年間に国民１人あたりの国民所得を２倍にしようという「所得倍増計画」を打ち出しました。この計画のもと、政府が産業基盤を整備したこと、大規模な設備投資が行われたことなどから、高度経済成長が実現しました。佐藤栄作は1964年11月～ 1972年７月の間、田中角栄は1972年７月～ 1974年12月の間、中曽根康弘は1982年11月～1987年11月の間、それぞれ首相の座にありました。

（2） A2 **知識** **分類**

東京オリンピックは1964年に開かれ、それに合わせて国立競技場、東海道新幹線、首都高速道路などが建設されました。羽田空港は1931（昭和６）年に開港しています。

問4 B1 **理由** **知識** **置換**

沖縄はサンフランシスコ平和条約によりアメリカ合衆国の施政権下にあることが定められました。そのためアメリカ合衆国同様、道路交通は右側通行となっていました。

問5 A2 **分類** **類推**

イは洗濯機、ウは冷蔵庫、エはカラーテレビ、オは乗用車、カはエアコンです。1950年代後半になると、白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫が“三種の神器”として一般の家庭に普及しました。エアコン（クーラー）、カラーテレビ、カー（自家用自動車）は1960年代後半から70年代にかけて普及した“新三種の神器”に含まれます。カラーテレビの普及にともない、白黒テレビの需要は落ち込んでいきました。

問6 B1 **知識** **置換**

平成元年は１月８日から始まりましたので、365日－７日＝358日間となります。

問7

（1） A2 **知識** **分類**

アは昭和53（1978）年、イは平成７（1995）年、ウは平成13（2001）年、エは平成３（1991）

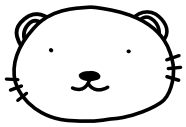
年のことです。

（2） A3 知識 置換 分類

アは天正10（1582）年、イは享保元（1716）年、ウは応仁元（1467）年、エは平治元（1159）年のことですのでエとなります。

（記述問題の採点について）
・解答の字数制限に従っていない場合…不正解
・明らかな誤字・脱字がある場合…－１点
・文章・文末表現の不備がある場合…－１点

1問７（3）
「暖房」という語句が使用されていない場合…不正解



小学六年 国語 ―― 解答と解説

1

問一	問二	問三	問四
イ 21	日	A ア 23	ア 26
	進	B エ 24	
	月	C ウ 25	
	歩 22		

(完答)

問五	問六	問七	問八	問九	問十
できれば、 27	ウ 28	ウ 29	イ 30	ア 31	エ 32

問十一
Ⅰ 敵 33
Ⅱ 勝ったり負 34

2

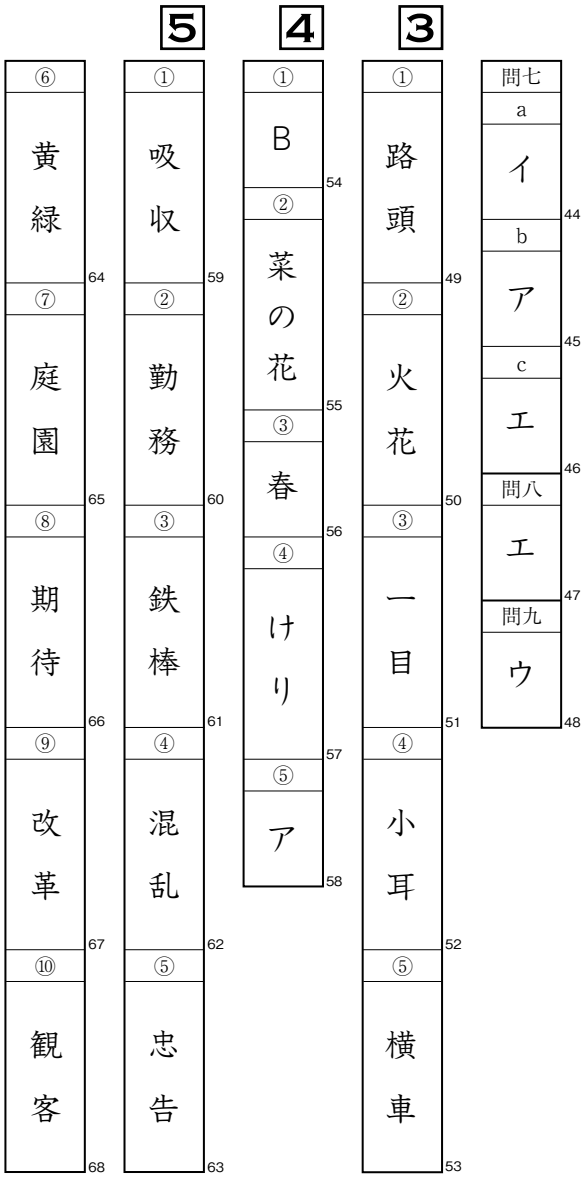
問一	問二	問三
ウ 35	イ 36	それをお寺 37

問四	問五
1 ウ 38	1 エ 41
2 ア 39	2 地域の特性 42
3 オ 40	

問六
同時代に生きる人びとが、この国の政治や社会に何を求めているのかをつかむために、地域から地域へと広範囲に移動している人たちと話をした。 43

（配点）
- 1〔問二〕4点、〔問三〕各2点、〔問十一〕各3点、他各5点
- 2〔問四・七〕各2点、〔問六〕7点、他各5点
- 3 4 5 各2点

計150点


5
⑥
黄緑
64
⑦
庭園
65
⑧
期待
66
⑨
改革
67
⑩
観客
68
①
吸収
59
②
勤務
60
③
鉄棒
61
④
混乱
62
⑤
忠告
63
4
①
B
54
②
菜の花
55
③
春
56
④
けり
57
⑤
ア
58
3
①
路頭
49
②
火花
50
③
一目
51
④
小耳
52
⑤
横車
53
問七
a
イ
44
b
ア
45
c
エ
46
問八
エ
47
問九
ウ
48

1 【解説】

佐川光晴「駒音高く」から出題しました。将棋の練習にはげむ主人公の翔太が、それぞれの場面で何を考えているのかをとらえながら読みましょう。また登場人物の目線で描かれる物語の場合、ほかの人物の心情はその言葉や表情から読み取ることになります。山沢君のこまかい描写にも注目しましょう。

問一 B1 推論 比較

――線①の直前に「サッカーや野球じゃそうだろうけど、将棋ではそういうことがあるんだって」という翔太の言葉がありますが、この「そういうこと」の指す内容は「小5が小2に負ける」ということです。その内容に最も近いのはイです。

問二 A1 知識

「日進月歩」は、日ごと月ごとに絶え間なく前進していく様子を表す四字熟語です。

問三 B1 関係 比較

空欄補充の問題は、前後の内容をよく読み取って翔太の心情を考えましょう。［A］はいくら新しい勝ち方の研究をしてもすぐにみんなに取り入れられてしまうということがわかっているにもかかわらず、それでも研究を続ける翔太の心情であるため、アが入ります。［B］は対戦相手である山沢君のことをちっとも知らないと気づいた翔太が考えていることなので、エが入ります。［C］は野球の練習の時のように大きな声を出してほめられた時の翔太の思いであるため、ウが入ります。

問四 B1 理由 比較

翔太が野球と将棋を比べている場面は「そのことに、ぼくは初めて気づいた」の段落から始まります。この部分の内容に最も近いのがアです。イは「友達をつくる機会にはならなかった」、ウは「自分のことをよく知りもしない人を相手に真剣勝負をしなくてはならない」、エは「日々の練習が大変」とありますが、これらを翔太が「きつい」と感じている描写がないため誤りです。

問五 B1 理由

将棋教室にやってきたときの翔太がどんな思いを持っていたかという点に注目しましょう。新しい勝ち方を考えてきた翔太は、山沢君に勝とうとして将棋教室に来たのではありません。「この2週間……」の段落にある通り「できれば、今日は山沢君とは対戦せずに、別の相手に研究の成果をぶつけてみたい」と考えています。自分の研究が正しかったかどうかを試したいという思いから、気合いが入っていたのです。

問六 B1 理由 比較

山沢君が「つまらなそう」な顔をしたのは、有賀先生が「前回と同じ対局になってしまうけど……」と言ったとき、つまり今回の対局の相手が翔太であると分かったときでした。そこからウを選ぶことができます。なぜ翔太と戦うことがつまらないのかは、前回と同じ相手であることや、すでに山沢君が翔太に勝っていることが考えられるでしょう。

問七 B1 置換 比較

――線⑥の「ぼくは詰み筋を懸命に探し続けた」のは、すでに引き分けが決まった後の翔太の行動です。この前には有賀先生の「残念だけど、今日はここまでにしよう」「すごい勝負だったね。ぼくが将棋教室を始めてから一番の熱戦だった」という言葉があり、ここから翔太が対局の勝敗や有賀先生にほめられたこと以上に、自分の取ってきた戦法について深く考えることに意識が向いていることがわかります。その説明として最も適当なのがウです。

問八 A2 知識 関係 比較

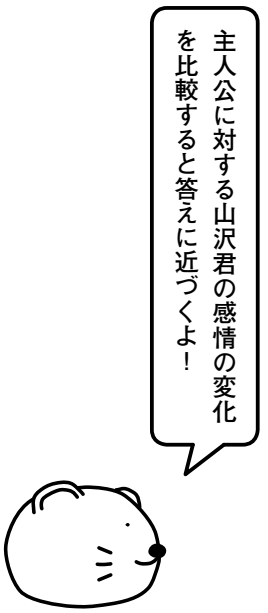
「キツネにつままれた」とは、思いがけないことが起こって状況が飲みこめずにぼんやりすることを表す言葉です。翔太が将棋を始めたことを「夢中になれるものを見つけたことがうれしい」と素朴に思っていた両親が、プロ棋士や奨励会の話が出てきたことに非常におどろいたことがわかります。

問九 B1 理由 比較

――線⑧の直前の「それがどれほど困難なことか」の「それ」は、「そういえば、……」の翔太の言葉にある「きみとぼくもプロになって、いつかプロ同士で対局できたら、すごいよね」や「奨励会試験に……」の段落の内容を指しています。今からプロになれる確率がどんなに低いとしてもがんばってやりとげようという翔太の決意が「絶対にやりぬいてみせる」という言葉に表れています。

問十 B1 理由 比較 推論

山沢君は基本的に「自分以外はみんな敵」だと考えていて、翔太の「一緒に強くなろう」という言葉には反発しています。しかし「このあと、となりの図書館で棋譜をつけるんだ。今日の、引き分けだった対局の」という、翔太が将棋の勉強にとても熱心だということがわかる言葉を聞いたことで、表情がやわらかくなります。そこからエを選ぶことができます。



問十一 B1 具体化

「たしかに対局中は敵だけど、盤を離れたら、同じ将棋教室に通うライバルでいいんじゃないかな」という翔太の言葉に表れている通り、翔太は「敵」と「ライバル」を区別して考えています。山沢君は確かに敵なのですが、「ぼくの心ははずんでいた……」の段落にある通り、翔太は山沢君と「勝ったり負けたりをくりかえしながら、一緒に強くなっていけばいい」と考えており、この「敵」とも「チームメイト」とも違う新たな存在が彼にとっての「ライバル」であることが読み取れます。

2

童門冬二「歴史を味方にしよう」から出題しました。比喩表現や具体例を用いながら、なぜ歴史を学ぶべきなのか、歴史はどのように学んでいけばよいのかを説明しています。

問一 B1 推論 比較

歴史を勉強することの意義は細井平洲の言葉を挙げながら説明されています。「学んだことが、人生を歩くとき、行く先を照らす灯りになってくれます」「歴史を学ぶということは、日々の生き方を学ぶということです。自分がどう生きていくか、そのための手がかりや足がかりを学ぶことができるのです」などの言葉をもとに、ウを選ぶことができます。

問二 B1 具体化 比較

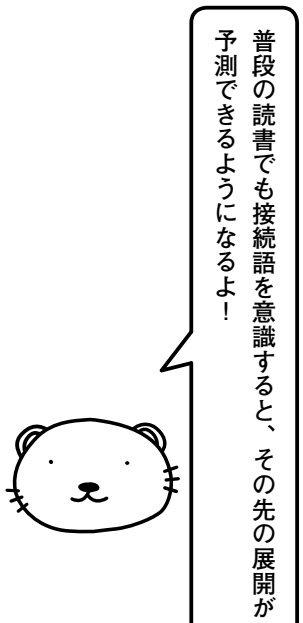
――線②の直前に「川の向こう岸は社会、世の中です。その川を渡って、向こう岸に行く手段が『勉強』です」とあります。そこから、自分のいまいる場所が「川のどのあたりなのか」は、社会に対したときの自分の置かれている位置やあり方であると考えられます。その内容に最も近いのがウです。

問三 B1 具体化

自分の姓の歴史をたどる話は、――線③から「『自分』からスタートして……」の段落まで続きます。この範囲をよく読み、「それをお寺の和尚さんにお願いして見せてもらうと、自分の家がどんな家なのか、その家柄、つまり、『キャラ』を知り、その家系が地域でどう生きてきたのか、地域とのつながりをたどることができます」の一文をぬき出しましょう。

問四 A2 関係 比較 知識

1は徳川幕府の時代に武士以外が姓を名乗ることを禁じられていたにもかかわらず姓はそれぞれの家に代々伝えられてきたという内容をつないでいるので、逆接を表す「しかし」が入ります。2は「古くからの」を「歴史ある」という表現に言いかえているので「つまり」が入ります。3は「家の歴史」と「地域の歴史」という異なる内容の言葉を並べているので「そして」が入ります。



問五 1 B1 具体化 比較

「その人物」の直前だけを見るのではなく、段落の内容全体をよくとらえるようにして読みましょう。――線④「その人物」が指しているのは直前の段落の「その人物」または「その人」と同じ人物であり、さらにそれらが示す内容は「この人とならつきあってみたいと思うような『友』や『師』」であり、さらにその人は「市史や町史」の中で「出くわし」た人物であることがわかります。これらをまとめるとエを選ぶことができます。

2　B1　具体化

「その人物」を調べることをきっかけに、その周辺にいた人にも興味を持ち、そこから彼らが生きていた地域のことがわかっていくということが、――線④の次の段落「そうすると……」以降に書かれています。ここから「地域の特性」という言葉をぬき出すことができます。

問六　B2　推論　具体化

――線⑤のすぐ後に、「そのビジョンを実現するためには、同時代に生きる人びとがいま、この国に何を求めているのかというニーズを知る必要があります」とあります。これを達成するために信長が具体的に行ったのは、「旅人や行商人のような、地域から地域へと広範囲に移動している人たちに目をつけ」て「リサーチを繰り返し」ていくことでした。こうして信長は「日本の民衆が、政治や社会に何を求めているのか」を知り、彼らにとっての「幸福」を理解しました。よって①「同時代に生きる人びとがいま、この国に何を求めているのかを知る」ために②「地域から地域へと広範囲に移動している人たちと話をする」という2点を、字数指定に合わせてまとめましょう。

※設問の指示や字数指定に従っていないものは不正解とします。ただし、誤字脱字が一つの場合は減点1点、二つある場合は減点2点、それ以上は不正解とします。解答の説明に過不足がある場合は減点3点とします。

問七　A1　知識

聞きなれない言葉もふくまれていたかもしれませんが、それぞれの意味は文の流れから予想することもできます。（a）は信長の「人びとが幸福に暮らせる国をつくりたい」という思いを言いかえた言葉なのでイです。（b）は人々が国に求めていることなのでアです。（c）は旅人や商人にいろいろな質問をすることなのでエです。

問八　B1　理由　比較

なぜ「行ったり来たりする」ことになるのかは、「こうして個人史～広がっていきます」の部分に書かれています。個人史から始まり、地域史、通史へと広がっていくと、そこで生じた疑問を解決するためにまた個人史などに戻って学ぶ必要があるというこの部分の内容に最も近いのはエです。

問九　B1　比較　抽象化

アは「筆者の経験と共に」が誤りです。イは「～という視点を持つことがなぜ必要なのか」が誤りです。エは「織田信長が歴史から何を学んだのかを現在の視点から述べている」が誤りです。